

みどり

碧の海をめざして

～東京湾でのアマモ場再生活動～

みなさんの協力のおかげで、海の公園と野島海岸のアマモ場は急速に拡大しています。これからは、再生されたアマモ場を適切に守り育てていきます。



2005年の野島海岸



2007年の野島海岸

金沢八景-東京湾
アマモ場再生会議

<http://www.amamo.org>

ポスター製作
市大アマモ隊GRASSY



アマモン

アマモ は、砂や泥の海底に根をはって生える植物です。

海中の光や底質などの条件がそろえば群生して**アマモ場**を作ります。

波に揺られるその姿は、まさに **海の草原** です！

また、アマモ場は産卵の場や小さな生きものが育つ場になるので、

海のゆりかご とも呼ばれています。

▼今と昔のアマモ場の分布

今、私たちは埋立や海水の汚れによって減ってしまったアマモ場を再生する活動をしています。

アマモは、海中で花を咲かせて**タネ**を実らせます。また、地下茎を伸ばして仲間を増やします。そのため私たちは**タネをまき、苗を植える**ことで

アマモ場を再生する ことができるのです。



4月
April

5月
May

苗の移植

タネから大切に育てた苗を、紙粘土と竹串を使って横浜市金沢区の海辺に移植します。



6月
June

花枝の採取

みんなで協力してアマモ場から花枝を一本一本採取します。



7月
July

タネの選別

水槽内で成熟させたタネを一粒一粒手作業で選別します。子どもたちはスノーケリングや磯の観察会を体験できます。



アマモ場のモニタリング

アマモがしっかり育っているか？アマモ場にはどんな生きものがいるのか？再生したアマモ場の様子を1年を通して調査しています。

1月
January

2月
February

3月
March



横浜・海の森つくりフォーラム

アマモ場再生の取り組みや成果を発表しています。地元の小学生も環境への取り組みを元気に発表してくれます。

12月
December



花枝がのびて花が咲き、タネができます。



光をあびてすくすくと育ちます。



秋になって水温が下がると発芽が始まります。



土の中でだんだんとタネが成熟します。

8月
August

9月
September

10月
October

水温が高くなり、海水の透明度が下がる夏の間、アマモは弱ってしまいがちですが、秋になって水温が下がると、また元気に成長をはじめます。



苗の育成

一定の水温で保管していたタネを苗床にまいて、水槽の中で大切に育てます。

11月
November



←アオリイカの卵です。アマモに守られるように産卵されていました。

アマモ場の中なら → タツノオトシゴも安心して生活できます。



タネまき

播種シートとコロイダルシリカという2つの方法で海底にタネをまきます。

